

つくばみらい市に 窓の補助錠を寄贈

つくばの製造会社

防火シャッターの安全装置などを製造する「サンユウテック」（つくば市）は、つくばみらい市に同社で開発した窓の補助錠50個を寄贈した。子どもの転落防止などに活用してもらおう狙い。5日に同市足高の市立

すみれ幼稚園で補助錠の取り付けが行われた。

同社の岩川光治社長が子育て支援に力を入れる同市の取り組みを知り、子どもの安全確保に役立ててもらおうと寄贈を決めた。

市は閉校になった小学校校舎を利用してあるすみれ幼稚園と市立わかぐさ幼稚園で補助錠を活用し、2階の掃き出し窓などに設置された。



赤木洋子園長（中央）と小田川浩市長（右）に窓の補助錠を手渡す岩川光治社長（つくばみらい市足高

岩川社長は「いろいろな転落事故がある。危険な所に活用してほしい」と話した。すみれ幼稚園の赤木洋子園長は「すぐに開け閉めができるつくりで先生たちも使いやすい。子どもたちの安全確保も十分に図れる」と感謝した。